

新たな挑戦が始まった沖縄科

～ OIST キャンパスツアー

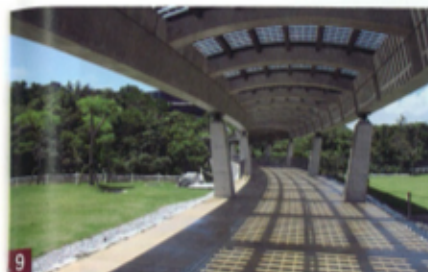
丘の上に建物が見える。車を降り両サイドの池を眺めながら長い通路を歩く。入り口で入館チェックを済ませ、さらに長い廊下を抜けるとセンター棟や研究棟に上がるエレベーターにたどり着く。OISTへのアクセスは、あたかも山中のトンネルから秘密基地へ入っていくようなワクワクした興奮を感じる。さらに施設は、世界中から集った研究者たちのコミュニケーションを誘発する工夫がなされていた。8月15日、OIST キャンパスツアーに参加した西原町教育委員会のみなさんに同行した。(編集部)



1 琉球石灰岩の石積みに掲げられた「Okinawa Institute of Science and Technology」の看板
 2 海外の空港で見かけるようなデザインが印象的な階表示のヒストグラム
 3 ギャラリートンネルではOISTの研究ユニットを紹介するビデオが上映されていた
 4 垂直型を使ひたはむき出しのエレベーターシャフト。センター棟各階へ
 5 模型を使って説明を受ける西原町教育委員会が引率した見学者のみなさん
 6 セミナー室で詳しい説明に熱心に耳を傾ける。中学生からお年寄りまで30人が参加
 7 ギャラリートンネルでは、吉岡さとの氏の素粒子物理学研究所を撮った写真展「何故、我々は存在するのか?」が開催されていた。写真左は別展示、計算脳科学ユニットのニューロンの「森」を3Dで再構築したパネル
 8 ガイドの丁寧な説明に興味津々。ガイド付きキャンパスツアーは週3日(要予約)

学技術大学院大学を訪ねる。

に参加し施設を見た～



9 エントランスに通じる屋根付きの歩道が訪問者を迎える
 10 ギャラリートンネルには様々な研究成果もパネル表示されていた
 11 西原町の海外移住者子弟研修生受け入れ事業で来沖した呉屋・マリエラ・ロクサーナさん (アルゼンチン、左から)、サト・宮平・ジョセリン・リツコさん (ペルー)、タマナハ・ヴィニシウス・サダオさん (ブラジル)

12 センターコートから第1研究棟を望む
 13 緑が鮮やかなセンターコート。屋外コンサートも開かれる
 14 カフェカイト。平日のみの営業で、個人見学者も利用できる
 15 センターコートと第2研究棟をつなぐ吊り橋スカイウォーク
 16 センター棟内のサイン。さりげないセンスの良さが光る

